

山口市芸術家育成支援事業

第1回やまぐち新進アーティスト大賞
第1回やまぐちACS賞 (The Artist of Citizens Selection)

参加アーティスト数：20名

最終選考 候補者：7名

橋口 仁 (33)

ハセガワ タカシ (33)

原田 和明 (34)

平川 和明 (LB Furniture works) (29)

森光 亜紗子 (29)

山根 秀信 (49)

渡邊 陽子 (32)

(総 評)

本賞の直接的な因は、故田口克己氏の遺志である。山口の地で、今という時代に芸術を通して創造の世界にチャレンジしている若きアーティストに着目し、市民とともに支援しようという主旨である。

20名のアーティストから応募があったが、芸術におけるジャンルという既成概念のボーダレス化を感じさせる多彩なアーティストが揃い、文化のまちを標榜してきたこの地における新しいアートの生成を感じた。

まず、最終選考の対象者となる7名のアーティストを選び出し、さらなる絞り込みの結果、山根、平川、渡邊の3氏について、5名の審査員の真摯な議論に、詳審な吟味を加えながら、最終結果としては、満場一致で平川氏が大賞受賞者に決定した。

新しい時代にあって、未知の世界に立ち向かう新進アーティストによって展開される作家のエネルギーは、クリエイティブシティ山口としての存在感をさらに増してくれるであろう事を期待させる、市内外から参加した審査員にとっても、さわやかな審査会となった。

(やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員長 足立明男)

(やまぐち新進アーティスト大賞選評)

シンプルな見ごたえのあるデザイン、座り心地の良さ……、フィンランドで学びながら、日本人の感性に馴染む快適な作品であった。特に脚部への考え方、思考方法に誠実さを強く感じました。木という素材に向き合い、暮らしを営む人に向き合いながら、洗練された構想力や高い技術力を培うことにより、作品に豊かさを与えていこうとする作り手の姿勢が垣間見えた。日本人のもつ伝統的なライフスタイルの中にさえ、新たな感性を取り込んでいく、意欲的な若きアーティストの求める世界のあり方と可能性が示唆されている。

(審査委員 今井徹也)

・・・第1回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員・・・

足立 明男 (山口情報芸術センター館長)

井生 文隆 (山口県立大学教授)

石崎 泰之 (山口県立萩美術館・浦上記念館学芸課長)

今井 徹也 (建築家)

森川紘一郎 (周南市美術博物館館長)

・・・第1回やまぐちACS賞審査委員会審査委員・・・

市民審査委員 13名

「第1回やまぐち新進アーティスト大賞」

受賞者（アーティスト名）：平川 和明（LB Furniture works）

肩書き：家具職人

PROFILE

1979年福岡県山門郡瀬高町（現みやま市）生（29歳）。山口市大内御堀在住。2002年、山口県立大学環境デザイン学科卒業。家具づくりを学ぶため、県立大学大学院在学中にヘイノラインスティテュートキャビネットメーカー学科へ入学（フィンランド）。ギャラリーでの展示会、住宅博覧会等への参加を行なう。帰国後、大学院へ復学。昼は木工所に勤め、夜間大学院へ通う。2005年、在学中に大学時代の同級生と家具屋（LB Furniture works）を設立、大殿大路に店舗を、宮野下に工房を構える。2006年、大学院を卒業。現在、グループ展に参加するなど県内を中心に活動中。



受賞コメント

この度は、「やまぐち新進アーティスト大賞」を受賞させて頂きありがとうございます。家具づくりをはじめて7年、大学の同級生と家具工房「エルビーファニチャーワークス」を立ち上げて、4年目となります。これまでの取り組みがこのような形につながったことをうれしく思います。また、これまで支えてくださった方々のおかげだと大変感謝しています。この賞を励みにこれからも真摯に家具づくりに取り組んでいきたいと思います。（LB Furniture works 平川和明）

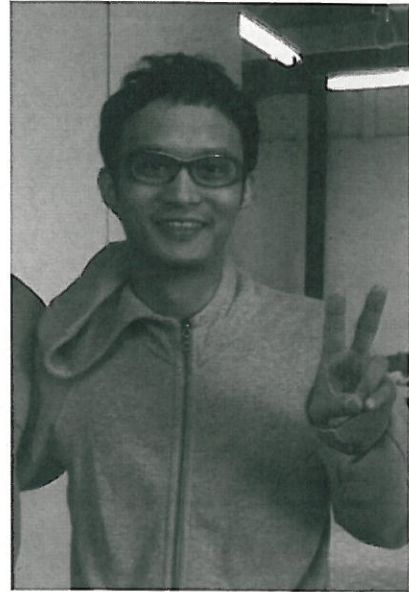
「第1回やまぐちACS賞」

The Artist of Citizens Selection

受賞者：原田 和明 (アーティスト名同じ)
肩書き：オートマタ作家

PROFILE

1974年光市生まれ(34歳)。山口市秋穂在住。
1997年、山口大学人文学部博物文化論コース
(美学美術史専攻)卒業。2002年、オートマタ
の魅力に取り付かれ制作を始める。2007年、オ
ートマタ発祥の地ユニバーシティ・カレッジ・
ファルマス大学院 コンテンポラリークラフト
コース修了。帰国後、自宅そばにアトリエ兼ギ
ャラリーを構える。現在、山口市秋穂を拠点に
国内外の展覧会へ出品するなど活動中。



受賞コメント

やまぐちACS賞に選出していただきありがとうございます。
オートマタという、まだ一般に馴染みの薄いジャンルに賞がいただけたことは
非常に画期的で意義のあることだと思います。
今回の受賞が多くの人にオートマタの魅力を知っていただくきっかけになれば、
とても嬉しいです。今後とも応援よろしくお願いいたします。

(原田 和明)

